



千葉県環境生活部と生協連役員との施設見学会を開催しました！

11月20日（木）に千葉県環境生活部と千葉県生協連役員との施設見学会として、なのはな生活協同組合の施設を見学しました。なのはな生活協同組合では1箇所の商品の発注から入荷、仕分け、配送車両への積み込みまでおこなっており、共同購入の仕組みの全体を見学することができました。

今回の施設見学会では千葉県環境生活部から、くらし安全推進課消費者安全推進室 齊藤室長、牲川副主査、千葉県生協連からは、打越会長理事、尼崎専務理事、コープみらい高山理事、生活クラブ生協山崎専務理事、千葉県庁生協鶴岡専務理事、ちば住宅コープ大見専務理事、千葉大学生協柴崎専務理事、千葉商科大学生協玉木専務理事、東邦大学消費生協有吉専務理事、および県連事務局3名の合計15名が参加し、なのはな生協の岩崎専務理事から説明を受けました。



ガイダンスの様子

はじめに千葉県生協連打越会長よりあいさつがあり、続いてなのはな生協の岩崎専務理事より本部・配送センターの紹介がありました。その後、実際に現場を見学させていただきました。

本部・配送センターの紹介としては、以下の内容の説明がありました。

- ・なのはな生協の組合員数、事業内容等の組織概要
- ・1974年市民クラブ生協として設立し、なのはな生協に名称変更した後、2024年8月に設立50周年を迎えたこと
- ・なのはな生協の特徴として食とくらしの安全にこだわり国産であることを基本に厳しい基準を設けていること
- ・配達エリアは千葉県内31市町と都内6区であること
- ・施設の1階は保管用冷凍庫、冷蔵庫集品設備エリア、ドライピッキングエリア、冷蔵荷受室、チラシ室があること
- ・配送センターの1日の流れは午前5時から当日出荷の冷蔵品、農産品の集品作業が始まり配送職員が出発した後翌日の冷凍品、ドライ品の集品作業をおこなっていること
- ・2011年東日本大震災後から食品の放射性物質検査をおこなっていること
- ・なのはなおひさま発電所として太陽光パネルを設置していること
- ・地域活動としてエリア会、子育て支援活動、ユニセフ活動をおこなっていること
- ・「人の命とくらしを守る」を基本理念として平和の大切さ、命の尊さを訴え活動していること
- ・社会福祉活動としてこども食堂からべえを開設したこと



見学の様子

その後、施設内の見学をおこないました。



保管用冷蔵庫の中
すでに配送トラックが出発しているため冷蔵庫の中はスペースがありました



蓄冷材凍結庫 なのはな生協ではドライアイスの代わりに冷凍蓄冷材を使用しているので凍結させるための凍結庫が設置されています。



冷蔵・冷凍集品設備 ここで冷蔵・冷凍商品の仕分けがおこなわれています。



奥側からお届けに使用する配達資材が流れてくるのでそこに商品を入れていきます。間違いがあるとブザーが鳴るそうです



汚れた配達資材はここで洗浄しています



左側は放射能を測定する機械です。
なのはな生協では2011年8月から1週間で15品目位の食品を自主検査しています。

最後に会議室に戻り、質疑応答をおこない、終了しました。

以上